

## 多摩地域の医療を支える拠点病院

⑫⑩ 東京都立多摩総合医療センター（東京都府中市）



都立府中病院が全面改築移転し、2010年に開院した多摩総合医療センター。多摩地域における唯一の総合的な医療機能を持つ都立病院として、28科の診療科、789床の病床数を備える。病床の年間稼働率は約90%、1日平均1500人以上の外来患者が訪れる。地下1階、地上11階建ての同センターは、地下1階、地上7階建ての小児総合医療センターと一体整備され、1階から4階までがつながっている。両院合わせて1350床の「府中メディカルプラザ」と称している。

基本理念は①患者中心の医療の推進②急性期

医療の充実、高度専門医療の推進③医療機能連携の強化④チーム医療の実践⑤人材の育成⑥経営の健全化。重点医療として救急、がん、周産期の他、脳血管疾患、心臓病、結核、難病、精神科身体合併症、造血幹細胞移植などを掲げる。

救急医療では外来部門(ER)、重症救急患者の集中治療を行う救命救急センター、夜間救急病床から成る「東京ER・多摩[総合]」を設置。小児総合医療センターの「東京ER・多摩[小児]」と連携し、24時間365日、救急疾患に対応。精神科救急医療、周産期救急医療では多摩地域のセン



ター的機能を担っている。両院合わせて年間受け入れ救急車台数は約1万2000件、年間取り扱い件数は約6万件と全国有数の診療規模を誇る。

また、「東京都認定がん診療病院」「地域がん診療連携拠点病院」に認定されており、あらゆるがん症例で高い診療実績を持つ。拠点病院協議会の開催を通じ、地域のがん医療連携の促進に努めている。周産期医療では、小児総合医療センターと一体運営している「総合周産期母子医療センター」の産科部門を担当。MFICU(母体・胎児集中治療室)9床、一般産科病床42床を持つ。高リ

スクの妊産婦や産科救急患者も受け入れている。高度専門医療を充実させるとともに、総合内科部門の強化、地域医療機関との連携強化にも取り組む他、地域災害拠点中核病院、東京DMAT指定病院として、災害医療提供体制の強化にも力を入れている。

施設の運営・管理は、民間の資金や経営能力を活用する「PFI」という手法を用いている。PFI事業の実施会社(SPC)である多摩医療PFI株式会社と一体となって、さまざまな経営課題の検討・分析を行い、経営力の強化に取り組んでいる。